

7/9 (日) 13:30~15:00

会場

仙台文学館講習室

定員

八十人

佐伯 一 麦

北 根

ダイアログ

2023

-佐藤厚志と語る-

仙台文学館館長の佐伯一麦が、各分野で活躍されている方、注目している方をお迎えするシリーズ企画「北根ダイアログ」。
今年、二〇二三年一月に第一六八回芥川賞を受賞した、作家の佐藤厚志さんを迎えて、受賞までの道のりや、今後の作家活動についてお話を伺います。



さえき かずみ
佐伯 一麦

1959年、仙台市生まれ、作家、仙台文学館館長。仙台第一高等学校卒業後に上京し、週刊誌記者や電気工の勤めの傍ら作品を執筆。著作に『木を接ぐ』（海燕新人文学賞）、『ショート・サーキット』（野間文芸新人賞）、『ア・ルース・ボーイ』（三島由紀夫賞）、『遠き山に日は落ちて』（木山捷平文学賞）、『鉄塔家族』（大佛次郎賞）、『ノルゲ』（野間文芸賞）、『還れぬ家』（毎日芸術賞）、『渡良瀬』（伊藤整文学賞）、『山海記』（芸術選奨文部科学大臣賞）、『アスベストス』などのほか、ルポルタージュ『石の肺 僕のアスベスト履歴書』、エッセイ集『月を見あげて』、『とりどりの円を描く』、『Nさんの机で ものをめぐる文学的自叙伝』など著書多数。



さとう あつし
佐藤 厚志

1982年、仙台市生まれ、作家。東北学院大学文学部英文学科卒業。書店に勤務しながら小説の執筆を続け、2017年、『蛇沼』で第49回新潮新人賞を受賞。2020年、『境界の門居』で第3回仙台短編文学賞大賞を受賞。2021年には、『象の皮膚』が第34回三島由紀夫賞候補となった。2023年、『荒地の家族』で第168回芥川賞を受賞。

申込方法

往復はがきに、イベント名、お名前、住所、電話番号を記入の上、仙台文学館へ。往復はがき1枚につき1名の申込み。締切り6月13日(火) 必着。申込多数の場合は抽選になります。



交通のご案内

●バス利用の場合

<宮城交通バス>
仙台駅西口バスプール2~4番乗り場
仙台北・泉地区方面行（急行・北山トンネル経由を除く）
<市営バス>
仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車後、徒歩5分

●地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、南一番出口より、台原森林公園内「あかまつの道」経由、徒歩約25分

●自家用車利用の場合

駐車場 40台（無料）



仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1

TEL 022-271-3020 FAX 022-271-3044

URL: <https://www.sendai-lit.jp/>